

道の駅への期待

フィンランド・ラップランドロヴァニエミ市
市長 エスコ・ラトベン

世界中の子供たちに愛され親しまれるサンタクロースは、ラップランドの山中に暮らし、ロヴァニエミ市郊外のサンタクロース村に毎日きて、世界中から村宛てに届く約70万通もの手紙に一年中、せつせと返事を書いています。

サンタの一番大切な仕事は、フィンランド政府観光局の国際交流の一環として、世界中の子供たちに愛に満ちた世界を届けるため、親善大使として私（エスコ・ラトベン市長）の親書を持って各国を訪問し、交流を深めることです。

とりわけ3・11東日本大震災の後に日本を訪れ被災者と交流したのは、サンタとしても忘れられない重要な訪問でした。人を愛すること、愛されていることを伝え、子供たちを抱き締めるだけでなく、笑顔を見せてくれるだけで幸せでした。被災地を歩き、訪問して良かったとしみじみ感じました。

その訪問で日本にある私たちの事務局から「道の駅」について聞きました。国道などの道路沿いに

道の駅でサンタとふれあいを



Rovaniemi



あつて自治体が運営する公共施設とか。郷土を語り合う交流拠点など、他の国では聞いたこともありませんが。そんな素敵な施設があるなら全国各地の道の駅を訪問し、その土地の子供たちにぜひ会ってみたい。今度日本で開く「ふれあいサンタ」は道の駅で、という

話もあるようです。サンタとのふれあいをぜひ道の駅で実現してほしいと、強く願っています。いつか皆さんとお会いできますように！道の駅の新聞にメッセージを託します。サンタクロースは笑顔を届けます。フィンランドは世界中に笑顔と愛を届ける国際交流を続けます。

サンタクロース財団



「ふれあいサンタ」は道の駅で、という

■お知らせ

「道の駅への期待」は第2ステージに入った道の駅に対し、「わが社は道の駅でこんな事業を展開したい」「道の駅をこんな風に使っては」などのアピールを、主に企業や各種団体などに提案してもらうコーナーです。その会社などを代表して、「個人」の考えをベースに持論を展開してもらいます。掲載希望の会社や団体は、本紙編集部 (info@route-press1st.jp) までご連絡ください。